

“わたしのまち”

九段坂公園周辺は、千鳥ヶ淵の桜の向こうに東京タワーを望むことができる撮影スポット

# 千代田区

## 咲き誇り香り立つ、千代田の桜

（これからの季節におすすめの桜鑑賞ルート）

都内有数の桜の名所である千代田区には、千鳥ヶ淵周辺の1100本をはじめとして、約3000本の桜が訪れる人の目を楽しませてくれます。桜のトンネルの中を歩くかのような千鳥ヶ淵緑道、幻想的な夜桜を楽しめるライトアップ、お濠のボートに乗り水面から眺める桜など、散策しながらさまざまな桜が楽しめます。これからの季節にとっておきの桜鑑賞ルートを紹介します。



### 全国でも有数な桜の景勝地

千代田区の地図を広げると、当時の江戸城である皇居を中心として、まちを取り囲むように内堀・外堀が点在していることがわかります。城郭への侵入を防ぐために作られたこれら堀端の多くは、現在では区に住み、働き、来訪する人たちの憩いの場として整備され、春には見事な桜並木になります。

江戸時代以降、都内には各地に桜が植えられました。千代田区でもソメイヨシノの植樹が盛んに行われ、現在では都内有数な桜の名所として知られています。

区では、昭和59年に桜を区の花に指定し、平成15年度には今後も桜を守り次世代に引き継いでいくため「区の花

さくら再生計画」を策定し、桜の保全に取り組んでいます。

#### 桜鑑賞におすすめのルート

千鳥ヶ淵や靖国神社、江戸城外堀跡の土手筋など、区内に数多くある桜の見どころは、例年多くの人でにぎわいます。

これからの季節におすすめのルートを、九段下駅を出発点にご案内します。

#### 九段坂

区の桜を満喫するには、九段下駅で下車するのがおすすめです。九段下交差点に近い4番出口から出れば、桜はもうすぐそこです。九段坂上を望むと、

## 千代田区桜観賞MAP



左に牛ヶ淵の桜、右前方には靖国神社の大鳥居が見えます。  
ムラサキハナナやナノハナを覆うように咲く牛ヶ淵のソメイヨシノを左手に見ながら坂を上ると、途中に日本武道館へ向かう田安門が。九段坂をさら

に上っていくと、九段坂公園がありま  
す。この周辺は、千鳥ヶ淵の正面に東  
京タワーを望むことができる撮影ス  
ポットで、特に、桜がライトアップされ  
る夜は、白く山のように浮かび上がる  
左右の桜と鏡のような千鳥ヶ淵、ロウ

ソクのように輝く東京タワーが一度に  
観賞できます。

### 千鳥ヶ淵周辺〜半蔵門

九段坂を上りきると左には、お堀沿いに約700メートル続く千鳥ヶ淵緑道があります。

都内屈指の桜の名所である千鳥ヶ淵は、濠の幅も広く、水面と緑の岸辺や石垣との情景の美しさが見る人の目を楽しませてくれる観光スポットです。

平成21年3月に一年を通して自然に親しめる四季の道として整備された千鳥ヶ淵緑道には、ソメイヨシノの枝が張り、まるで桜のアーチを通り抜けるように散策することができま

す。春の桜以外にも、夏のサルスベリやアジサイ、秋のイロハモミジやドウダンツ

ツジ、冬のカンツバキなど歩きながら季節を感じることができます。

緑道の途中にはボート場（観桜期30分800円）があり、桜の花咲く千鳥ヶ淵を水面近くでゆったりと楽しむことができます。桜の時期終盤になると、花びらが水面を埋め尽くす「花筏（はないかだ）」という現象を見ることがもできます。ここは、360度すべてが観賞スポットです。

例年3月末から4月上旬までは、昭和34年から行われている「千代田区さくらまつり」が開催され、千鳥ヶ淵緑道のライトアップが行われます。緑道の外から見ても、中から見上げても、対岸の桜を見ても、溜め息が出てしまうような見事な夜桜を満喫できます。

#### ● 広報広聴課の穴場のおすすめ情報

桜の季節は、毎年100万人を超える来場者がある千鳥ヶ淵緑道。週末には九段下から観桜の列ができることも。そのようなときは、早朝がおすすめです。  
桜の見頃は、まだ寒さが残る季節。風もなく凜とした早朝の時間帯は、昼から夜の人混みが嘘のように静かで、景色を「ひとりじめ」できるかもしれません。



千代田区にはこんなにある!

## 代表的な桜の名所

- 1 千鳥ヶ淵周辺  
千鳥ヶ淵緑道、隣接濠側法面、千鳥ヶ淵公園、内堀通り、千鳥ヶ淵戦没者墓苑
- 2 北の丸公園
- 3 靖国神社周辺 靖国神社、靖国通り、大妻通り
- 4 江戸城外濠の土手筋 真田濠、五番町堤塘地、五番町児童遊園、新見附濠、牛込濠
- 5 清水谷公園周辺 清水谷公園、紀尾井町通り
- 6 東郷元帥記念公園
- 7 日枝神社周辺 日枝神社、周辺区道
- 8 皇居北縁部周辺 皇居東御苑、代官町通り、内堀通り
- 9 神田神社周辺 神田神社、宮本公園
- 10 日比谷公園



外濠公園の桜は、JR線の電車内からも眺めることができる。ピンク色の桜と土手の斜面の黄色いナノハナの対比は見事



「千代田区さくらまつり」期間中は千鳥ヶ淵周辺は多くの人でにぎわう。平成26年、ライトアップ期間中に実施した桜の保全のための「千代田区さくら基金」への募金額は、約366万円にも上った

### 千鳥ヶ淵公園周辺

千鳥ヶ淵緑道を抜け千鳥ヶ淵公園に出ると、ここでも桜が楽しめます。英国大使館前の半蔵濠に沿って細長く続く公園ですが、点々と大木のソメイヨシノやシダレザクラが枝をひろげ、私たちを歓迎してくれます。濠側を通るか英国大使館前を通るか、ここ千鳥ヶ淵公園は、散策の分岐点。少し開花が遅いやマザクラがちらほら咲く代官町通りを通って皇居東御苑の多種多様な桜をめざすもよし。内堀通りを靖国神社方面へ戻り、外濠公園の桜をめざすもよし。桜田濠沿いに三宅坂を下るもよし。

### ● 広報広聴課の穴場的おすすめ情報

代官町通りを千鳥ヶ淵公園から竹橋に向かって進むと、すぐ左手（皇居の向かい）に高い土手が。高射砲台跡も残るこの場所には、たくさん桜が植えられています。また、千鳥ヶ淵緑道の桜を、外から見ることもできる数少ないスポットのひとつです。

### 半蔵門〜東京駅

半蔵門から皇居沿いに桜田門、二重橋前を通って東京駅をめざしてみましよう。三宅坂を下ってすぐ右手には国立劇場があり、濃淡がある数種類の桜が見ることが出来ます。こちらでも前庭で毎

年「さくらまつり」が開催されています。

最高裁判所を過ぎるとしばらく桜はありませんが、右手に国会議事堂、警視庁、法務省などの有名建築物を見ながら桜田門をくぐって皇居外苑皇居前広場へ。ソメイヨシノが葉桜になる頃、馬場先濠側にある八重咲きの桜イチョウ並木が見事な花をつけます。

### 靖国神社〜外濠公園

靖国神社境内には、東京の桜の開花を知る「標準木」があります。気象庁により、花が5〜6輪咲いた状態が開花の基準となり、「東京の春はここから始まる」といっても過言ではないで

しょう。拝殿への門をくぐると、そこはまさに桜の園です。

靖国神社から靖国通りとは反対、飯田橋方面へ5分ほど下ると、通信病院を左手に見ながら外濠公園に出ます。ここから市ヶ谷駅まで、右手に牛込濠、新見附濠とJR中央線の往來をみながら散策することができます。

堀の斜面には黄色いナノハナが。電車と花々と濠の水面のコントラストは、鉄道ファンや写真ファンの方以外にも一度は散策してほしいスポットです。

### ホテルニューオータニ日本庭園〜四ツ谷駅

弁慶濠に隣接し、紀尾井町にあるホテルニューオータニには、広大な日本庭園があります。ここにもソメイヨシノやシダレザクラの大木があります。ホテル中央に位置するテイルラウンジの窓一面からは日本庭園のパノラマビューが。太鼓橋の向かいにはソメイヨシノが咲き誇り、まるで絵画を見るようにのんびりと贅沢な時間を楽しむことができます。また、ここから四ツ谷駅までのソフィア通りの土手も桜並木になっていて、行きも帰りもお花見気分を盛り上げてくれます。